

11月・12月の管理ポイント



ホームページアドレス
http://www.tomo-green.com/

第126号

2013年は19年ぶりに30個もの台風が発生し、竜巻や突風、更には大雨とそれに伴う土砂災害で、日本各地に様々な被害を及ぼしました。ゴルフ場としても、悪天候とその後の清掃作業などで、管理作業が予定通りに進まなかったことと思いますが、来シーズンを見据えてグリーンのコンディションは万全にしておきたいですね。

グリーンメカ

貯蔵糖類を確保して来春の萌芽期を乗り切る...

11月は、生育期のため糖類消費が激しい季節です。

曇天が続く日は、光合成が不十分で、折角の施肥が完全にエネルギーにかえられません。

グリーンメカを処理して糖類を補給し、12月の休眠期に備えましょう。

貯蔵糖類が十分にあれば、耐寒性・耐凍性が增强され、来春の萌芽期は均一に芽出しします。

使用量：5~10ml/m² 1kg/m²以上散布

プライマーセレクト

強風によるグリーン表面の乾燥に...

強風による乾燥の厳しい11月は、油断するとすぐにグリーン表面が乾燥しすぎてしまいます。

プライマーセレクトを処理することによって、均一な水分分布を目指し、乾燥害からグリーンを守りましょう。

使用量：1~2ml/m² 200ml~1L/m²散布 散布回数 1ヶ月~1ヶ月半に1回

カラーメイトF-20

リーズナブルな価格で!!

カラーメイトF-20は、従来の着色剤に比べ季節感を重視した自然な色調(ダークグリーン)で、落ち着いた風合いに仕上がります。物理性(固着性、速乾性、色持ち、色乗りetc)や安全性にも優れ、**お求めやすい価格設定**なので、フェアウェイなど広範囲でご使用いただける自信作です。

使用量：50~100倍 100~200ml/m²散布

リーフシールド

芝生の耐乾性・耐寒性を高めるには...

米国アクアトロールス社品

リーフシールド処理により葉面はコーティングされ、蒸散が抑えられます。葉面温度が下がるのを軽減し、また乾燥からも守ります。着色剤との組み合わせにより、葉面温度が上昇し、霜が早く溶けます。

使用量：200倍 150~200ml/m²散布

サッチ・マネージャー

サッチ層の除去には...

本剤は、自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある有用菌(野生株)を選抜した微生物資材です。16種類の有用菌(乳酸菌11種、枯草菌3種、酵母菌2種)で構成されており、様々な土壌環境にも適用できるように配合されています。製剤1g当たり約400億個の菌が配合されていますので、土壌中でも安定した効果が期待できます。

低価格に設定されておりますので、ラフ、FWなどの大面積散布にもご利用して頂けます。

使用量：ラフ・FW 0.1~0.2g/m² グリーン 0.5g/m² 散布水量0.2~0.5l/m²

植物の持つ様々な色素

今年の管理ポイントでは、光合成関連のマメ知識をいくつかご紹介してきました。今年の最後のマメ知識では、光合成色素クロロフィルをはじめとして、植物が持つ主な色素について簡単にご紹介していきます。

- ・光合成に必要な光エネルギーを吸収する化学物質
- ・陸上植物、藻類が持つものを単にクロロフィル、光合成細菌の持つものをバクテリオクロロフィルと呼ぶ
- ・新種のクロロフィルの発見が相次いでいる（亜鉛バクテリオクロロフィル（1996年）、クロロフィルf（2010年）など）

クロロフィル



- ・黄葉した葉の黄色のもととなる色素
- ・植物だけではなく動物も持っている色素で、750種類以上存在すると言われている
- ・強すぎる光から植物を守る働きをする（β-カロテンは有害な活性酸素を普通の酸素に戻す、キサントフィルは余った光エネルギーを安全な熱エネルギーのかたちに変える）

カロテノイド



- ・赤、紫、青の花や果実、また、赤く紅葉した葉の色のもとになっている色素
- ・主に細胞中の液胞という器官に存在し、光合成には関わらない
- ・紅葉でなぜアントシアンが合成されるかはまだわかっておらず、可視光や紫外線のストレスによる障害を防ぐため、との仮説もある

アントシアン



- ・一部の藻類とシアノバクテリアだけが持つ色素
- ・光合成の集光色素であり、クロロフィルが吸収しにくい黄色～緑色の光も吸収する
- ・タンパク質と共有結合しており、タンパク質が壊れると色が消える

フィコビルリン



芝生管理場面では、色素の名前としてよりも、冬期のベントグリーンの生理障害としての“アントシアン”が知られています。植物体内でアントシアンが合成されるメカニズムの研究が進めば、生理障害の“アントシアン”を防ぐ方法も見つかるかもしれません。